

# 写友会 便り

創刊号 NO.1



イラスト 52P 菱井彩乃

発行日：平成 28 年 10 月 22 日  
発行者：大阪市立工芸高等学校内 写友会  
大阪市阿倍野区文の里 1-7-2  
06-6623-0462

写真工芸科・映像デザイン科 60 周年おめでとうござい  
ます。  
工芸高校写真学科、0 歳から阿倍野区で育った私がこの  
学校を知ったのは、14 歳でした。そして今年 55 歳にな  
りました。  
今年写真学科は 60 歳、私が生まれた時は 2 期生の方が卒業  
された年です。  
小中学と身体も弱くスポーツも出来なかった私は運動会も修  
学旅行も禁止された、おもしろく無く、元気の無い学校生活  
でした。

中学が写真部だった私は中学三年の時に工芸展を見学し「こ  
の学校に決めた！」と思い受験しました。  
当時の工芸は後に暗黒の時代と言われた程、偏差値も低く私  
服で自由で気楽な学校でした。しかしながら私はそこに救わ  
れたのか？毎日が楽しく自由な学生生活を過ごしました。

広告カメラマンを目指した私は卒業と同時に 3 期生の師匠  
(故人)と 11 期生の先輩のスタジオに就職  
その後 7 期生の師匠と同期生の居るスタジオに移籍、そして  
最終は 4 期(故人)、11 期、17 期、18 期の先輩が所属す  
るスタジオへ移籍し計 8 年の修行時代を経て 26 歳でフリー  
となり会社を設立しました。そして今もデザイナーなど多く  
の工芸卒業生と一緒に仕事をしています。  
今になってですが「支えてくれたのは工芸、」振り返れば工  
芸、と言えます。

ここに、ご参加のみなさまにも、「それぞれの工芸、」があると  
思います。  
本日は、皆さんも工芸生に戻り楽しいひと時をお過ごし下さ  
い。  
また、この宴にご尽力いただいた各期幹事様へ深く感謝の意  
を表します。  
ありがとうございました。

写友会会長 前川 政明(20 期)

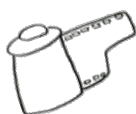


この度の写真工芸科・映像デザイン科創立 60 周年おめでとう  
ございます。

私は 2 期生で昭和 36 年卒業です。その頃から日本は高度成  
長期に入ろうとして日本中が活気にあふれ就職した広告業界  
も活気あふれていました。会社の思い出は初の労災適用入院  
(54 年経った今でも足にボルトが入っています) 初の海外  
口ケでしたその他会社「初、」が多かったです。

高校の思い出は体育祭の応援です。各科ごとに放課後 3、4  
日かけ 2 階位のやぐらを組み立て(ちなみに建築科は 4 階位)

その上で各科競争を仮装して応援合戦した事です。  
写友会では活動の一つとして工芸ピーズクラブを立ち上げ、  
高校生の教育的創作活動の一環として大阪府下を中心に写真  
を通じた能力開発としてのチャレンジをする機会を創る事を  
目的の一つに高校生写真公募展を 11 年間続けた事です。本  
日ご参加で同じ学び舎で学んだ皆様旧友と昔話で盛り上がっ  
てください。



前写友会会長 澤田 國南雄(3 期)

写真工芸科・映像デザイン科設立 60 年の記念の時を、映像  
デザイン科の職員として迎えることが出来ることを誇りに思  
います。私は美術科の卒業生で、写真科とはいっても隣り合  
せて、大人しい美術科と違い、いつも笑い声の絶えない仲の  
良い学科だった事をおぼえています。

そのイメージは職員になった今も変わらず、生徒の保護者か  
らこんなに楽しく学校に通う様になったのが信じられない、  
毎日が本当に充実している、本当に来て良かった！など嬉  
しい声を頂きます。  
教員同士の仲も良く本当に信頼できる仲間と巡り会えて幸せ  
だと心から思います。

知識や技術はもちろん大切ですが、共同作業の多い映像デザ  
イン科では、綺麗なだけではやっていけません。生身の人間  
がぶつかり合って人間力を切磋琢磨して鍛え上げて行きま  
す。このような人間力を養える学科は本当に素晴らしいと思  
います。

この度の記念同窓会を行うにあたって、沢山の幹事の方が  
貴重なお時間を割き、話し合い、準備を重ねてくださいまし  
た。まさに人間力の賜物と痛感し、感謝しております。この  
場をお借りして、心よりお礼申し上げます。

工芸高校も 100 周年に向けて歩んでいます。映像デザイン  
科もさらなる成長を遂げて記念すべき日を迎えられるよう、  
職員一同力を合わせて邁進いたしますので、今後ともどうぞ  
よろしくお願い致します。

映像デザイン科 科長 北野 早代



夏の青々とした空の下開催された平成 28 年度体育祭はまさ  
に晴れ舞台と言言葉がピッタリでした。今年の振り付けは  
『四聖獣』という神話を元に考えていきました。虎・亀・龍・  
雀の四体の神を四つの班に割り当て、班のソコの時はその神  
をイメージした振付を考えました。また、今までやったこと  
が無かった、ひし形の隊形にも挑戦しました。正方形から移  
動してひし形になるというものですが、初めての試みで本番  
直線まで練習を重ねたことを今でも鮮明に覚えています。私  
は団長だったので本番は後ろを見るのができなかったのです  
が、応援合戦『優勝』という結果から、この初めての試み  
は成功したのだと思います。6 年間連続優勝という快挙も、  
二年間私たちを指導してくれた先輩方と支えてくれた後輩た  
ちが居てくれたからこそそのものだと感じました。そしてその  
源となつているのは写真工芸科、映像デザイン科の先輩方か  
ら受け継いだ伝統です。先輩方から受け継いできたもの全て  
を私たちは受け継ぎ、またそれを後輩たちに託します。そう  
した伝統がずっと残っていくことを楽しみにしています。

平成 28 年度 映像デザイン科 応援団長 尾崎 未流(58 期)